

# 春見い付けたっ

今年もグループホーム職員の庭でひょっこり土筆が顔を出していました。庭の隅に目を向けると、きじが仲良く日向ぼっこをしておりました。何ともほほえましい光景にしばし見入ってしまいました。



# 白松苑だより

平成29年  
4月1日  
No.48

基本理念  
無限奉仕



社会福祉法人  
正清会



ポカポカ陽気に誘われ  
白松苑の桜も満開です。

## 賀宝の里白松苑 「ユニットケア研修実施地研修施設」に指定決定

この度、賀宝の里白松苑が「日本ユニットケア推進センター」より山口県では2番目、特養施設としては初めて「ユニットリーダー研修実施地研修施設」の指定を受ける事が決定しました。指定施設は全国で61か所しか無く、9500ある特別養護老人ホームのユニットケアのトップランナーとして他所の施設のユニットリーダーに実地研修の機会を提供するという「公的役割」を担うことになりました。大変名譽なことであることから、賀宝の里白松苑の松本施設長にユニットケアについて、さらに、指定を勝ち取るまでの苦労話についてお話を伺いましたので報告致します。(白松苑だより担当山下)

山下 この度の賀宝の里の指定は白松苑グループとして大変誇らしく、来年に移転新築し、装いも新たにユニットケアを開始する阿知須白松苑にとっても心強い限りです。初めにユニットケア研修実施地研修とユニットリーダーについてお聞かせください。

松本 ユニットケアは利用者、職員が小さなユニット(グループ)に分かれて、それぞれのユニットごとに、個人の想いを大切にしながら暮らす環境をサポートしていく介護手法です。ユニットにはリーダーが配置されており、リーダーは「ユニットリーダー研修」を受講することとされています。リーダー研修は3日間、ユニットケアの理論をしっかりと学んだ後に、「実地研修施設」で5日間の実習を行います。

山下 ユニットリーダーもユニットケア研修も、ユニットケアに取り組む上で必須のことであり、正に、2025年問題を先取りした取り組みですね。松本 利用者にとって施設は「家」のはずなのですが、多くは職員中心で日々の日課が決まられていきます。職員にとってそこは「職場」なのですが、ユニットケアは共に暮らす「家」として、自由とプライバシー(気兼ね

がない)を提供する方法だと思っています。「自分が住む」という覚悟で見ると、いろいろな気づきがありました。あるトイレにはドアがなくカーテンだったのは衝撃的で、覆ってドアを付けたのはよい思い出です。実地研修施設指定という目標があったことにより、職員全員が同じ方向を向いて、一丸となって取り組めたのではないかと思います。

山下 賀宝の里白松苑が実地研修施設に指定されることによるミッション、役目を教えてください。

松本 個の時代と言われて久しく、趣味やライフスタイルも多種多様になっています。核家族、夫婦2人暮らしから独居へと、もはや他人に気兼ねをしなくても暮らせる時代です。介護が必要になった時、それは、わがままと言われるかもしれませんが、もしその「わがまま」を叶えてくれる施設があったとしたら？賀宝の里、そして白松苑はそれに応えようというチャレンジしているのだと思います。

山下 今日はお忙しい中ありがとうございます。ご利用者様、ご家族様、ボランティア、地域の皆様のご支援ご協力に心より御礼申し上げます。そしてこの度の実地研修施設指定にあたり、退職した職員も含めて、共に賀宝の里を創り上げてきた職員全員に感謝申し上げます。

ありがとうございます。

賀宝の里白松苑ユニットケア研修実施地研修施設指定への道のり  
・平成19年4月ユニット型特養として賀宝の里白松苑開設  
・平成22年、開設後3年が経過し、応募資格ができたのを機に取組開始  
・平成26年にチャレンジするも不合格  
・平成28年に再度チャレンジし、「指定可」と認定される。

## 職員紹介



鈴屋 和美  
(看護師)



藤井 麻貴  
(介護職員)



重岡 佑香  
(調理員)



上田 美由紀  
(介護職員)



泉元 文那  
(介護職員)



平海 信幸  
(介護職員)



本間 昌樹  
(介護職員)



櫻木 浩二  
(調理員)



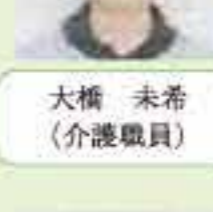
久光 千春  
(生活相談員  
兼介護職員)



酒井 柊馬  
(介護職員)



光友 一貴  
(介護職員)



大橋 未希  
(介護職員)



福間 雅俊  
(介護職員)



高井 直美  
(介護職員)



栗山 琢也  
(ケアマネ)

発行責任者  
特別養護老人ホーム白松苑  
苑長 福永 静

〒754-1277  
山口市阿知須5044番地1  
TEL 0836-65-2250  
FAX 0836-65-4645

大切にに使わせていただきます♡(特養)



3月22日(水)、財団法人「大空泰和顕彰会」様から福祉車両を寄贈していただきました。大変、ありがとうございました。



楽しい時間(デイサービス)



毎月恒例の誕生日会を開催しました。2月は全員で協力して『いちご大福』を作りました。丁寧にいちごをあんこで包んでいき、商品と見まがう仕上がりに「すごい出来栄じゃねえ」「売ってある大福より美味しいよ」と賑やかに話されていました。



3月の誕生日会を開催しました。ホットケーキミックスに豆腐を混ぜて焼き、仕上げにフルーツをトッピング♪ふっくら焼き上がり、とても美味しい『ホットケーキ』が出来上がりました。



人形展見学(グループホーム)



3月6日(月) いぐらの館に『てるおばさんの人形展』を見に行って来ました。全て手作りの可愛いお人形がたくさん飾ってあり、「まあ〜可愛いねえ」「それにしても見事じゃね〜」ご利用者様達は素朴で温かな表情のお人形にしばし見とれておられました。



よもぎもち(グループホーム)



ご利用者様達と一緒に、よもぎに重曹を入れて色鮮やかに茹で『よもぎもち』をつきました。手慣れた手つきでつぶあんを包んで下さって、あっという間にかなりの立派なおもちが出来上がりました。「色がとても綺麗でええわぁねえ〜」「やっぱり自分達の手作りは美味しいねえ」と会話も弾み、お昼ご飯としてご賞味いただきました。

